

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
 担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道23号 中勢道路（延伸）[12工区]	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：三重県津市神戸 至：三重県津市高茶屋	延長	3.1 km		

事業概要

一般国道23号は、愛知県豊橋市から三重県伊勢市に至る延長約200kmの主要幹線道路で名古屋市、四日市市、津市等の主要都市を結ぶ重要な路線である。

本道路は、三重県鈴鹿市北玉垣町から三重県一志郡三雲町大字小津に至る延長約3.4kmのバイパスである。12工区は、このうち津市神戸から津市高茶屋の区間に位置し、近畿日本鉄道名古屋線との立体交差を含む延長約3.1kmの4車線道路である。

事業の目的、必要性

一般国道23号中勢道路（12工区）は、現道23号市街地部の渋滞ポイント3箇所（雲出本郷町・垂水・大倉）における慢性的な渋滞を緩和するとともに、市町村合併を支援する主要幹線道路の機能を有し、内陸部での地域開発を支援するとともに、中部国際空港のアクセス港（鷺崎港）の定時性を確保できるアクセス道路として国際交流及び地域産業の発展に大きく寄与するものである。

全体事業費	120 億円		計画交通量	62,000台/日		
費用対効果 分析結果	B/C	27.4	総費用	87 億円	総便益	2,380 億円
			事業費	77 億円	走行時間短縮便益	2225 億円
			維持管理費	10 億円	走行費用減少便益	97 億円
					交通事故減少便益	53 億円
					基準年	平成15年

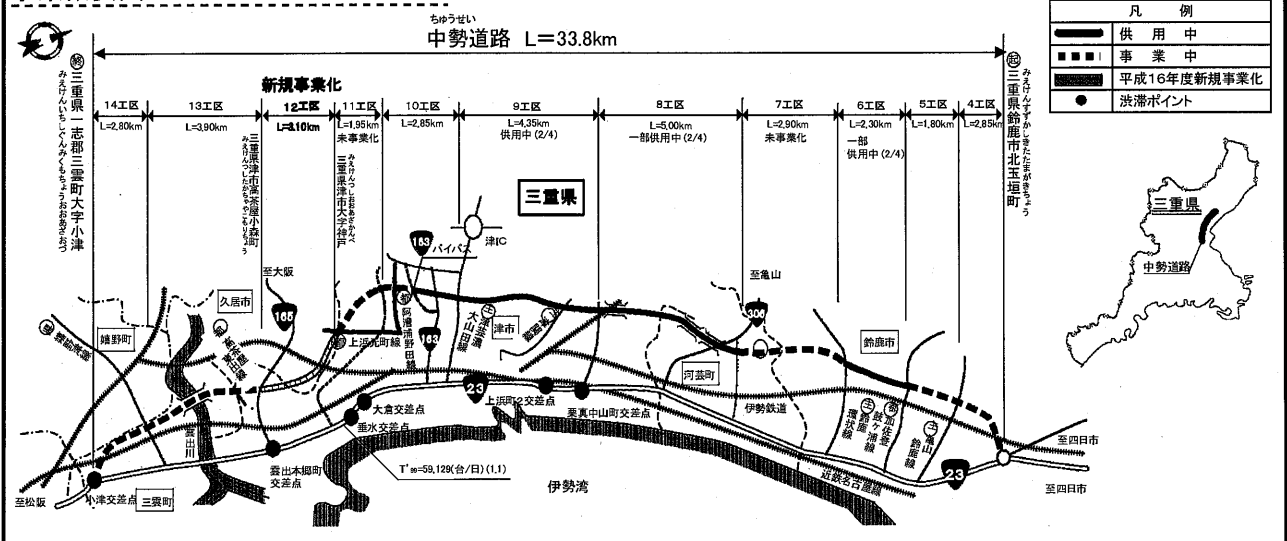
事業の効果等

- ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上）
 - ・地球環境の保全（自動車からのCO2排出量の削減）
 - ・生活環境の改善、保全（現道における自動車からのNO2、SPM排出量の削減）
 - ・円滑なモビリティの確保（現道の渋滞損失時間の削減）
- などの他 6項目に該当（定量的評価項目含む）

関係する地方公共団体等の意見

- ・「中勢バイパス建設促進期成同盟会（会長：津市長）」より未事業化工区の早期着手の要望
- ・津商工会議所での早期供用要望

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。